

寝たばこは
絶対にやめましょう！



ストーブで洗濯物を
乾かすのはやめましょう。



一日に
約3.2人の方が
住宅火災で
亡くなっています

火災による犠牲者の実態を知っていますか
平成十四年中に、住宅火災は全国で一万八千
百九十九件発生し、千六百九十九の方が亡くな
っています。
亡くなった方の約半数が、六十五歳以上の高
齢者です。
発火原因を見ますと、たばこの火の不始末や
ストーブが目立ちます。
住宅火災の怖さを、いつも忘れずにしてくだ
さい。



vol.17

備えようわが家の防火
住宅防火のすすめ

市消防本部
☎ 03 0123

「住宅用防災機器等」を設置しましょう

防災品のカーテンを
使いましょう。



住宅用火災警報器を
各部屋に取り付けましょう。



防災品の
キッチンウェアを
使いましょう。



各部屋に
住宅用消火器を
設置しましょう。



住宅における出火防止、火災の早期発見、初
期消火、延焼防止、通報、避難などの機器、ま
たはこれらの機器を組み合わせたものを「住宅
用防災機器等」と呼んでいます。
詳しくは、消防署へお問い合わせください。

住宅用防災機器など
をしっかりとるために備える

悩んでいますか？

～ファミリー・カウンセラーがアドバイス～
vol.29（最終回）

高齢者にかかわる悩みごと

A. 相手を理解する最後のチャンス 決断の前に十分話し合いを

一途に働くことが、家族への愛情だと思っていたの
なら、退職と離婚のダブルパンチでこたえますね。し
かし、妻が離婚を口にするまでには、何度もサインを
送っていた時期があるはずです。重大性に気付かず、
受け流したり無視したりしていませんか。人格
的、情緒的交流がない夫婦は、相手の経済力、地位、
家事・育児能力などの利便性にのみ依拠してしまい、
夫の退職などから破たんしやすいためです。

二人ともまじめで、自己犠牲的に頑張ったことが相
手に評価されない不満を抱えているようですね。結論

Q. 離婚をめぐる問題

定年2年前に、リストラで退職を余儀なくされま
した。退職金も以前のように支給されず、悩んだ
末に妻に打ち明けたところ、離婚したいと言われま
した。酒もたばこも賭け事もせず、家族のために働
いてきたのに、いまさら離婚とは…。この先どうし
たらいいの、夜も眠れません。

を急がず、感謝の気持ちを伝え合ったり相手の話を聞
いたりして、生活を楽しむ方法を見つけることが必要
でしょう。二人だけでは無理なら、相談機関や調停の
場を利用することをお勧めします。また、まじめな夫
婦の初老期には、うつ傾向に起因する葛藤もあるので、
医師に相談することも大切です。

それでも離婚が不可避なら、経済生活と心身の健康
保持の両面で、双方がともに立ち行ける条件を整える
ことに十分時間をかけてください。

（カウンセラー・山口恵美子）

